

連載企画 SDGs取り組み事例紹介

株式会社マクアスマート

～20年後も存在感があり、社会貢献できる会社を目指す～



【会社概要】

管路更生事業は、グループ会社の(株)アクア美保において2005年から取り組みを開始しており、さらに将来の需要増を確信して2011年には(株)アクアスマートとして広島市に本社を置く、管路更生工事と調査診断の専門会社として新たに創設され、既に地域において不可欠な存在となっている。

同社のSDGs宣言には、その目標として「環境に配慮した工事・サービスの提供」「ワークライフバランス」「責任ある企業行動」の3つを掲げ、地域社会への貢献とともに人材育成にも具体的に取り組んでいる。

【話し手】

(株)アクアスマート 代表取締役 中村康徳

—SDGsの取り組みをはじめたきっかけについてお聞かせ下さい。

近年、人材の採用活動が難しさを増す中で、最近の学生はSDGsを良く学んでいるのでSDGsに取り組んでいる企業を優先して選択するという情報を耳にしました。それならば、当社がかねてより理念として掲げていた「環境貢献しているという自負」「従業員が長く働き続ける会社を目指すこと」及び「地域・社会貢献したい」という取り組みはSDGsそのものではないか、と強く感じていたのですが、それをどのようにアウトプットして伝えれば良いのかは、悩ましい問題でした。

そんな時に、2021年にタイミング良くトマト銀行がSDGs事業の伴奏型支援を始めたとの紹介があっ

たので、サポートをお願いして2022年2月2日に「SDGs宣言」を出すに至った次第です。

当社のSDGsの活動は、特に大きな目標を掲げて活動するのではなく、宣言の3つの目標に対して、できることから始め、持続的な活動を通して人を育て、管路更生工事を軸に「従業員が長く働き続ける会社」であることと、中期コンセプトである「20年後も存在感のある企業」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

今回の能登半島地震を契機に下水道がいかに重要なインフラであるかが一般的に再認識されたのではないかと思います。そして、そのライフラインを老朽化や地震から守り続けている我々の仕事の意義について、若い人達もSDGsと捉えてくれるはずですよ。

——管路更生を通じてSDGsに貢献している事について教えてください。

管路更生工事は、道路を掘削する必要がなく建設残土の発生がないために、開削工事に比べて環境への負荷が少ない施工方法です。そして、工事期間が短く、通行止めも最小限で済むので、住民への負担も少ないというメリットがあります。

また、トータルの使用エネルギー節減にもつながりますので、環境負荷の少ない工事です。

ある試算では、環境への負荷は開削工事の半分以下だと言われています。また、下水を流しながら工事できる工法やスチレンの発生も少ない工法を採用していることも環境負荷低減や住民負担の軽減に役立っていると考えています。

管路更生をしないでそのままにしておくと、既設管の腐食や木の根等による浸入水や管路への土砂流入による道路陥没を招く恐れがありますから、管路更生を行なうことによる管路の機能回復（水理特性、耐震性等）ができるだけでなく、道路陥没に伴う事故を防ぐことにもなります。これらもSDGsに貢献している事例だと考えています。

——SDGsの取り組み全般について概説して下さい。

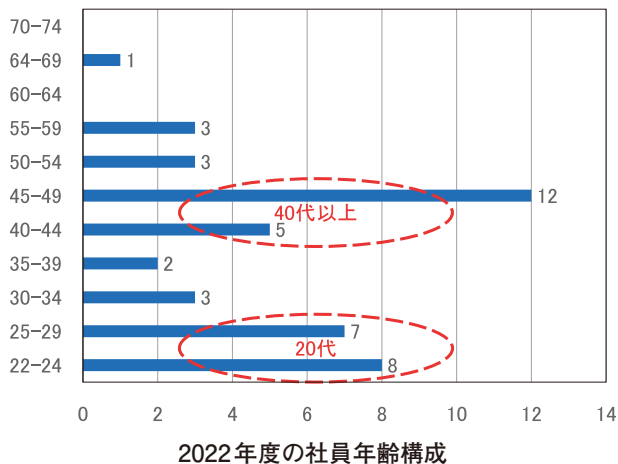
当社で行なっている管路更生や調査診断の業務は、屋外や地下での作業であるために一般の人には目に付きにくい仕事であり、且ついわゆる3K業務です。しかし、今後も老朽管はますます増大しますので、継続的に工事を行なっていく必要があります。その拡大するニーズを担っていくためには、人員の

確保と、特殊作業であることによる技術継承・技術革新は継続対応していかなければなりません。つまり、人材の育成が最も重要な取り組みだと考えているのです。

管路更生工事は同じ現場は1つもなく、現場条件に応じた多様な施工対応力が求められます。2016年から更生工事の拡大を予見して、人の採用を積極的に行なってきましたが、まだ2011年に設立したばかりの会社であるために広島での知名度が低く、採用には苦勞を強いられました。そこで、学校訪問、合同会社説明会、およびホームページのリニューアル等には少ない従業員の中から選任して活動してもらった結果、毎年 数人程度の採用ができるようになりました。当社の現状の課題としては、図のように人員構成が30歳代の中間層がおらず20代と40代以上の二山になっている点と、ベテラン社員はスキルは高いのですが、体系的にそのスキルを継承するのが苦手な面があると認識しています。



合同会社説明会



そして、SDGs宣言に挙げた「従業員が長く働き続ける会社」を目指すために、人材育成、働き方改革、労働安全衛生の強化、知名度アップ活動、地域貢献およびコンプライアンス強化等の基盤強化の活動を継続しています。人材育成に関しては、社員各自のスキルおよび必要資格を明確にした上で、5年後のロードマップを作成して教育や資格取得の補助を行っており、広島県リスキリング推進宣言制度にも参画してITパスポートなどの取得を支援しています。

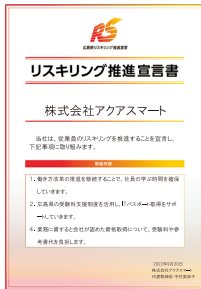
安全衛生活動は、なんといっても安全と健康が重要で企業継続の基礎です。SDGs宣言をきっかけに「ひろしま企業健康宣言」に参加し、食改善やメンタ

ルヘルス、運動の講演を定期的に行なっています。そして働き方改革については、2023年4月から年間休日を108日から120日に増やし、有給取得5日を必達としています。

調査業務でも安全性と施工性の両面から、クレバースキャン（レーザーHDカメラによる調査）や遠隔調査システムを導入して、なるべく作業員が管内に入らなくても済むようにしています。

地域貢献に関しては、会社前の道が中学校の通学路に当たるため、(広島市の) まちの美化に関する里親制度や、こども110番への登録を行なって活動しています。

リスキリング推進宣言



社内研修会風景



安全評議会の様子



SDGs中期計画

分類	項目	単位	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
環境 (E)	廃棄物削減目標	(円/m ³)	7,815	7,700	7,600	7,500	7,400	7,300
	省エネ目標 (水道)	m ³ /年	1,262	1,200	1,100	1,050	1,000	950
	省エネ目標 (電力)	kw/年	69,202	68,000	66,000	64,000	63,000	62,000
	事業活動による環境負荷低減 (=管更生工事)	件/年	30	31	40	45	50	55
社会 (S)	施工品質 (クレームゼロ)	件/年	3	0	0	0	0	0
	労災	件/年	0	0	0	0	0	0
	交通災害	件/年	10	1	0	0	0	0
	疾病	件/年	0	0	0	0	0	0
	年次休暇 (108日→120日)	日/年	8.5 (108)	5 (120)	5 (120)	6 (120)	7 (120)	8 (120)
	健康経営	★	3	4	5	5	5	5
	資格取得数 (目標達成率)	%	40	50 (20)	60	70	75	80
ガバナンス (G)	地域共生 (美化、見守等)	件/年	4	4	4	4	5	5
	コンプライアンス	件/年	0	0	0	0	0	0
(G)	リスクマネジメント (BCP運用)			運用開始	継続訓練	継続訓練	継続訓練	継続訓練

メンタルヘルス講演



こども110番



まちの美化に関する里親活動



——貴社の目指すSDGs2030年はどんな姿ですか？

来年度からの物流2024年問題をはじめ、週休2日の完全導入、インターバル制度、男性の育児休暇取得の拡大、賃上げの継続などの他、国の施策では、水道が国交省へ移管され、ウォーターPPPの拡大等、今後は急速に変化します。

急激に変化していく世の中の流れに対して、SDGsは「持続可能な開発」を目指すものであり、管路更生とは先述しました通り、そのもの自体が世の中か

ら求められるSDGsですから、当社は高い施工品質の管路更生と調査技術を提供することで持続的に利益が確保できて、そして社会および地域に貢献し続けることができると一貫して考えています。

市場環境や要求される内容は変わっていくと思いますが、それら新技術や市場の動きには常に先手でも対応し「従業員が長く働き続ける会社」を創るために、SDGs宣言に掲げた3つの活動をブラッシュアップしていき、2030年には現在の若手がリーダー・幹部となって会社を運営してくれると確信しています。

2022年2月2日



SDGs宣言 株式会社アクアスマート

当社は、SDGsに賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
環境に配慮した工事・サービスの提供	6 安全な水と衛生、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動への対応	主業種として、下水道管の管更生工事を行っております。下水道管路の機能の維持向上で道路陥没や土壌汚染を防ぎ、安全と環境に貢献してまいります。
ワーク・ライフ・バランス	3 健全な生活と長寿を促す、4 質の高い教育をみんなに、5 働きがいと経済成長、8 豊かさをみんなに実感させる	社員の健康を守り成長を創出するほか、多様な人材の活躍を応援し適切な評価を行う環境を整えることで、あらゆる人が活躍でき「長く働き続けられる会社づくり」を目指してまいります。
責任ある企業行動	9 産業・インフラの持続可能な発展、12 持続可能な消費と生産、16 公正な裁判と法の支配、17 パートナーシップで目標を達成しよう	社会環境インフラ維持に関わる企業として、環境に配慮した最新技術により管路更生工事を行っております。また、社内においても環境負荷低減（3R活動）に取組み、コンプライアンスを遵守してまいります。

当社が従事する上下水道管の管更生事業は、社会の環境・インフラの維持・発展に寄与する環境貢献事業です。

今般の「SDGs宣言」を機に、環境に配慮した施工技術に一層磨きをかけると共に、従業員が長く働き続けることができる会社を目指すことで、社員、会社、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

